●いよいよ冬の始まりです。暖かい服装で、てくてく散歩してくださいね。

北風が吹くころになると、冬鳥が公園にやってきます。いろいろな種類の鳥たちを観察するのも楽しいですよ。冬の生き物たちの営みも興味深いですよ。

●　冬の風物詩、てくてく歩くオオバンの群れ

■オオバンは体が黒く、額とくちばしが白い鳥で、利用者の方に「あの鳥はなんて言う名前なの？」と頻繁に尋ねられます。水生植物を主にエサとしていますが、この公園では、陸上の植物をついばむ姿を見ることが出来ます。歩きが得意なのか、群れを成したオオバンが草の上を移動しながらエサを食べている姿は、今や公園の冬の風物詩となっています。

イノシシに注意！
見かけたら管理事務所へ連絡を！

今月の鳥　「カルガモ」

秋から冬にかけて水辺では様々な水鳥が観察できます。普段よく見かけるくちばしが黒く先が黄色いカルガモは、カモの中で唯一渡りをせず一年中日本にいる留鳥です。ただし気温が低い地域に住む個体は冬になると南下するようで、北海道では夏鳥となっています。また、カモにしてはめずらしくオスとメスがほとんど同じ色をしています。これはカルガモの繁殖期の4月～7月に日本で繁殖するカモが他にいないため、オスが派手になる必要がないからと考えられています。

▶イノシシに注意してください！

もしイノシシに出会ってしまったら･･･

イノシシ注意

1．**落ち着いてゆっくり行動しましょう。**
慌てず、騒がず、イノシシを刺激しないよう、ゆっくりその場を離れましょう。

2．**攻撃したり威嚇したりしてはいけません。**
追いかけたり、石を投げてはいけません。興奮して突進されたり、噛みつかれることがあります。

3．**うり坊（イノシシの子）を見かけても近づいてはいけません！**
うり坊を見かけても、近づいたり追いかけたりしてはいけません。近くに母イノシシがいる可能性があります。また、絶対に食べ物を与えないでください。人への警戒心を低下させ、人が食べ物の供給源だと学習させることにつながります。

★イノシシを見かけたら、管理事務所までご連絡ください。
古河公方公園管理事務所　☎０２８０－４７－１１２９

●上品なピンク色のオトメツバキの花

■冬の時期に可憐なピンク色の花を咲かせます。幾重にも重なった花びらは非常に美しく、江戸時代に、その美しさから他藩に出回らないよう門外不出の椿という意味で「お止め椿」と呼ばれたのが語源のひとつだという説もあります。（※諸説あります。）

●鮮烈な赤色が映える、マユミの果実

■マユミの由来はその昔、この木を材料に弓を作ったことから名付けられたといいます。色鮮やかな実は、長い間残るので、秋から冬にかけてメジロやヒヨドリの餌になります。

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！
公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram　@koga_kubou/
- X（旧 Twitter）　@kubou_park

インスタグラムアカウント

X（旧ツイッター）アカウント

【発行】（一財）古河市地域振興公社 古河公方公園（古河総合公園）　〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1　電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。　古河公方公園　検索